

2025 年 1 月 6 日

博報堂、成人の日を前に、【100 年生活者調査～新成人編～】を実施
「18 歳は大人」の認識も過半数まで浸透、新成人が目指す大人は「生涯探求者」
～ 18～20 歳の半数以上が 100 年人生に前向きで、日本人全体より 2 割高い結果に ～

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、博報堂）のシンクタンク「100 年生活者研究所」は、18 歳～80 代の男女 800 名を対象に新成人にとっての人生 100 年時代の幸せをテーマに意識調査を実施しました。

1 月の第二月曜日は「成人の日」に定められています。成人年齢を巡っては 2022 年 4 月には民法が改正され、20 歳から 18 歳に引き下げられましたが、18 歳が大人かどうかについては様々な意見が見られます。そこで今回、100 年生活者研究所は生活者が「大人」をどのように捉えているのか調べました。その結果、回答者の約 8 割が「20 代以降に大人になったと自覚した」と答えた一方、「18 歳は大人だ」と感じているのは全体の半数以上に上り、18～20 歳の「新成人層」にいたっては 7 割超となりました。このことから、法改正によって成人年齢の意識も引き下がっていることがうかがえます。

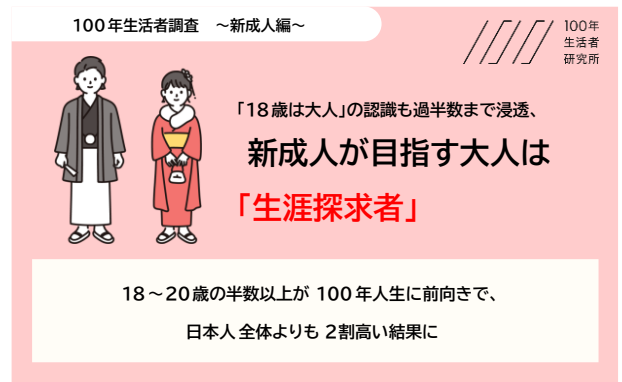
次に、2024 年 3 月の当研究所調査で 100 歳まで生きたいと考えている人が 3 割程度だった*という結果を踏まえ、

「100 歳まで生きたい気持ち」を調べたところ、全体は大きく変化せず 3 割にとどまったのに対し、新成人層は半数を超えることが判明しました。また、人生 100 年時代の大人像について全 15 項目から当てはまるものを選択してもらうと、

20 代以上と比べて「100 歳まで生きたい人」と新成人層の割合は近い数字で推移。新成人層に特徴的なものとして、

「色々なことに挑戦し続ける」「長い人生で楽しみを見つける」など、探求心を持ち続ける意識が高いことがわかりました。

*2024 年 定 点 調 査 レ ポ ー ト : https://hakuodo-rdc.com/100years_lab/posts/100report_240318/



【100 年生活者調査～新成人編～】結果サマリー

- 大人になったと自覚した年代について、回答者の 8 割以上が「20 代以降に自覚した」と回答した
- 一方、「18 歳は大人」と考えているのは全体で 5 割を超え、18～20 歳の「新成人層」にいたっては 7 割以上となった
- 「100 歳まで生きたい」意向を質問したところ、全体が 3 割にとどまったのに対し、新成人層は 5 割を超えて人生 100 年時代を好意的に捉えていた
- 人生 100 年時代における大人像について当てはまる項目を選んでもらうと、調査対象者全体と比べて「100 歳まで生きたい人」と「新成人層」は人生 100 年時代の大人像についてのイメージがより豊富だった
- その中で、新成人層に特徴的なものとして「色々なことに挑戦する」「長い人生で楽しみを見つけられる」が挙がり、探求心を持ち続ける意識が高かった

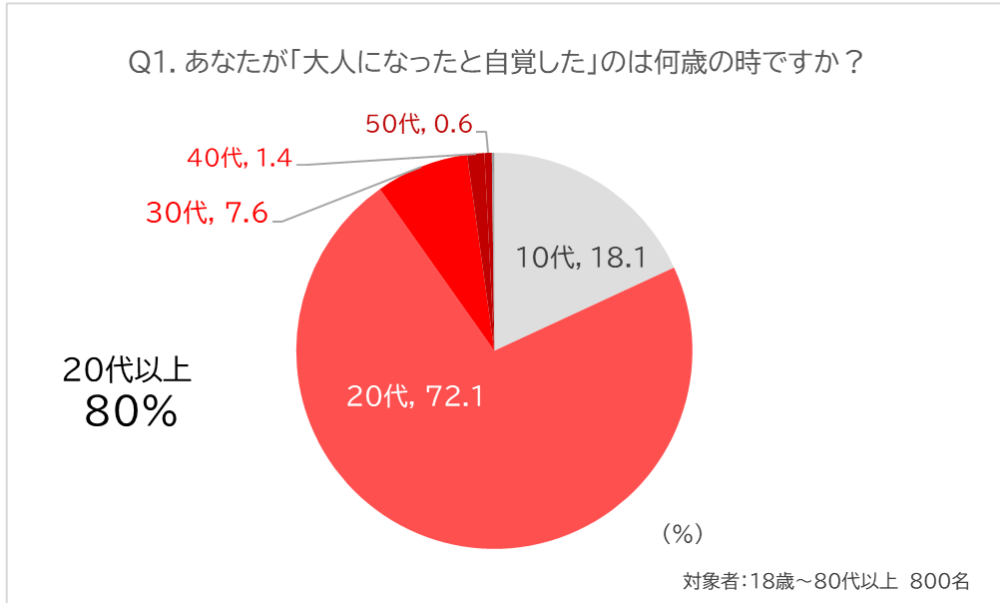
【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 三矢・高橋 koho.mail@hakuodo.co.jp

【100 年生活者調査～新成人編～】結果詳細

■Q1. あなたが「大人になったと自覚した」のは何歳の時ですか？

ー「20 代以降」と回答したのが 81.7%に上った

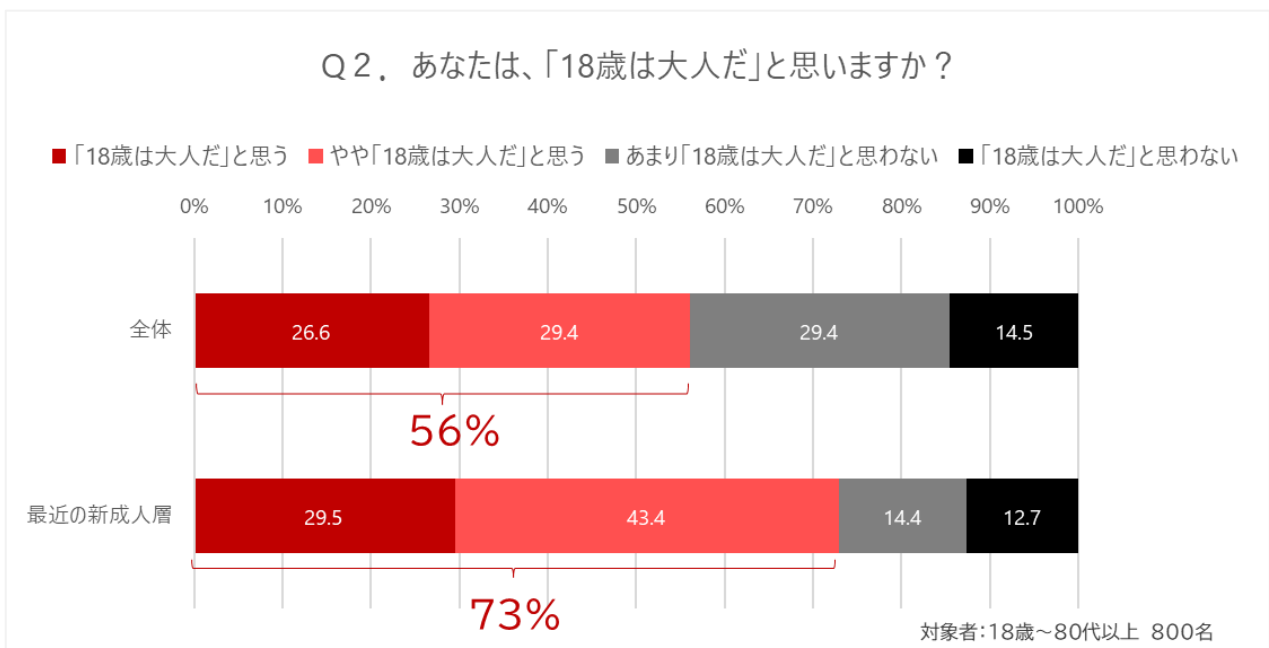


大人になったと自覚した年齢を質問したところ、「20代」（72.1%）が最多でした。続けて、10代（18.1%）、30代（7.6%）、40代（1.4%）、50代（0.6%）となりました。2022年の改正民法施行前は成人年齢が20歳だったことから、多くの人は自身の体験として20代以降で大人と実感したことがわかりました。

■Q2. あなたは、「18歳は大人だ」と思いますか？

ー「そう思う」「ややそう思う」と回答したのは56%

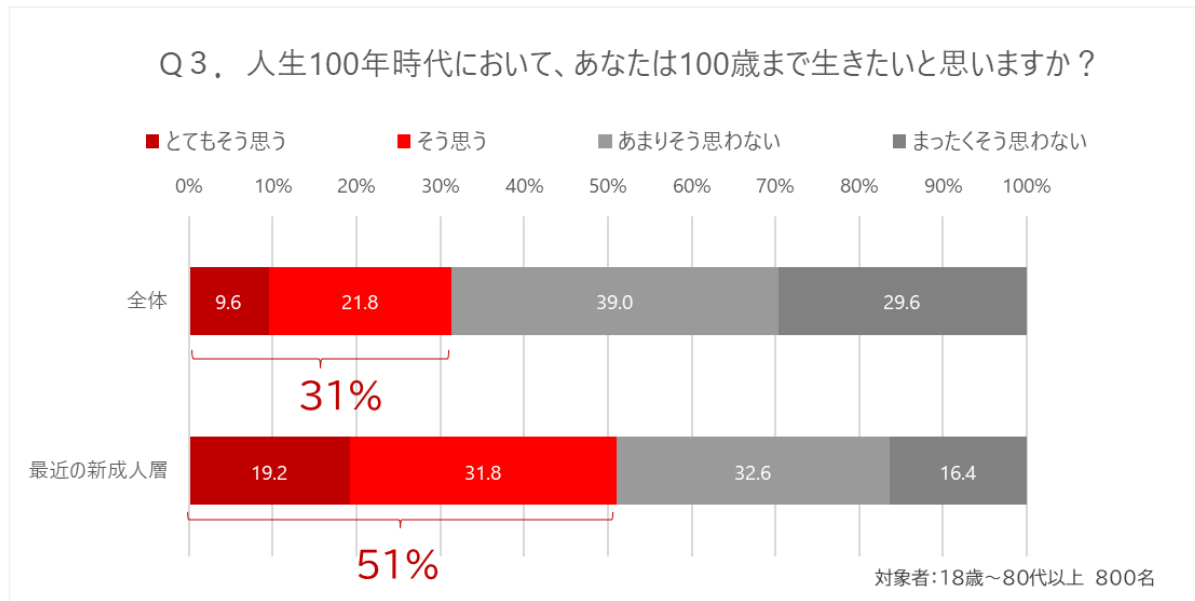
次に、民法改正により成人年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえ、18歳を大人だと思うかどうかを聞きました。その結果、全体だと「大人だと思う（そう思う、ややそう思うの合計）」は56%となり、18～20歳の新成人層（n=105）にいたっては72.9%にまで上昇しました。法的な定義が変化したことを踏まえ、成人年齢に対する意識も変化していることがうかがえました。



■Q3. 人生 100 年時代において、あなたは 100 歳まで生きたいと思いますか？

ー全体では「とてもそう思う」「そう思う」が 3 割だった一方、新成人層は半数を超えた

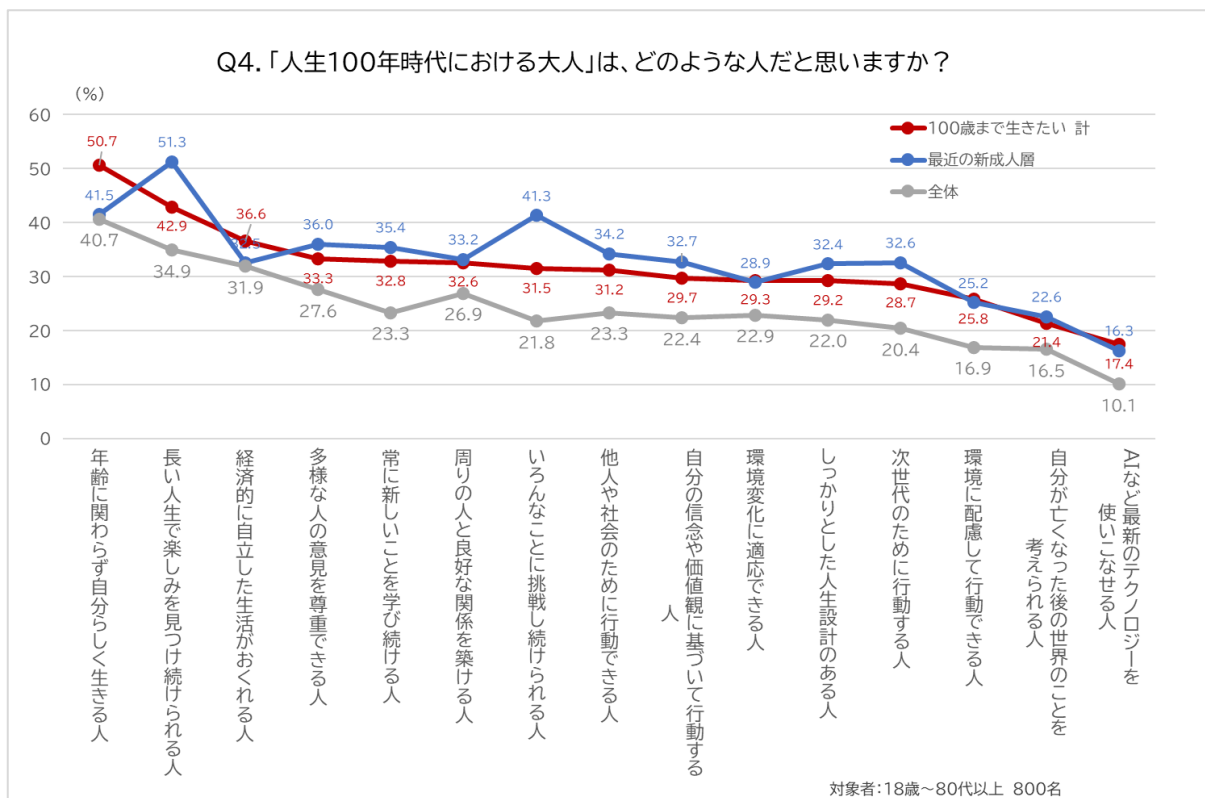
「100 歳まで生きたい」意向を尋ね、全体と新成人層で比較しました。その結果、「とてもそう思う」「そう思う」と回答したのは全体で 31.4%だったのに対し、新成人層は 51%（全体比 19.6 ポイント高い）となりました。新成人層は人生 100 年時代を好意的に受け止めていることが示唆されました。



■Q4. 「人生 100 年時代における大人」は、どのような人だと思いますか？当てはまるものを一つだけお選びください

ー「100 歳まで生きたい」人と新成人層は、回答項目全体の回答率が高く、イメージが豊富

人生 100 年時代における大人像について、15 の回答項目から当てはまると思うものを選んでもらい、「100 歳まで生きたい人」「新成人層」「調査対象者全体」のそれぞれを比較しました。その結果、「100 歳まで生きたい人」と「新成人層」は全ての回答項目で全体の割合を上回り、人生 100 年時代の大人像についてのイメージ量が多く、より明確にイメージできることがわかりました。



一全体と比べ、新成人層で高かったのは「いろんなことに挑戦し続ける」「長い人生で楽しみを見つけ続ける」
人生100年時代における大人像について、新成人層の回答割合が調査対象者全体よりも高かった上位5つを比較したところ、「いろんなことに挑戦し続けられる人」（100歳まで生きたい人比19.5ポイント高い）、「長い人生で楽しみを見つけ続けられる人」（同16.4ポイント高い）の差が特に大きいことがわかりました。この2つは探求心を持ち続けることが共通しており、これが新成人層の特徴であることがうかがえました。

		最近の 新成人層 (%)	全体 (%)	差 (pt.)
1	いろんなことに挑戦し続けられる人	41.3	21.8	19.5
2	長い人生で楽しみを見つけ続けられる人	51.3	34.9	16.4
3	次世代のために行動する人	32.6	20.4	12.2
4	常に新しいことを学び続ける人	35.4	23.3	12.1
5	他人や社会のために行動できる人	34.2	23.3	10.9

ホームページ URL : https://hakuhodo-rdc.com/100years_lab/posts/100report_250106/

【100年生活者調査～新成人編～】概要

- ・調査目的：人生100年時代における新成人の幸福を把握する
- ・調査手法：インターネットモニター調査
- ・調査日時：2024年12月
- ・調査対象：18～80代の男女800名（18～20歳の最近の新成人層は105名、集計時にウェイトバックを実施）

100年生活者研究所について

100年生活者研究所は「長くなる人生を、前向きに生きていく人を増やす」、それにより「日本を、前向きな100年生活者の社会にする」ことを目指して、活動しています。これまでの研究結果は、当研究所のホームページ（下記URL）よりご覧いただけます。

また、私たちは巣鴨に100年生活カフェ かたりばを運営しています。お店に来られる多様な価値観のお客様との対話を通じて、より生活の現場に近い場所から、研究活動を進めています。

- 組織名：100年生活者研究所
- URL : https://hakuhodo-rdc.com/100years_lab/
- 所在地：東京都豊島区巣鴨 3-34-3 西村商店第二ビル 3階
- 代表者：大高 香世
- 設立：2023年3月20日

